

提案書評価基準表

評価基準 番号	評価項目	
1	実施体制	執行体制・人員配置は妥当なものとなっているか。
2	ビジョン の基本理 念に合致 するか	(1) コンパクト&スマート これまで富山市が推進してきた「コンパクトシティ政策」に対する十分な理解が認められ、当該政策の“深化”につながる提案となっているか。
3		(2) 市民(利用者)中心主義 サービスを提供する企業や行政からの目線ではなく、市民(利用者)の目線に立ち、スケッチラボを活用した「リビングラボ」によって課題抽出、事業アイデアの検討、プロトタイピング並びに市場化テスト等の調査及び研究活動が実施されるなど、市民の困りごとや地域課題を的確に捉えた提案内容となっているか。
4		(3) ビジョン・課題フォーカス 市民がスマートシティ政策で実現したいビジョン(27の取組の方向性)に資する提案であり、その実現のために解決すべき課題が明確に定義されているか。 また、「手段」であるデジタル技術やデータ利活用が「目的化」していないか。
5	ビジョンの27の取組の方向性に合致するか	ビジョンの27の取組の方向性と事業により実現できることが合致しているか。
6	実現性	(1) 事業計画 事業化に向けたスケジュールが明確で現実的なものになっているか。
7		(2) 費用対効果 実装可能(コスト面での継続性、内容の更新・拡充可能性)なビジネスモデルとなっているか。また、既存の事業に対する優位性があるか。(新規性について明記があるか)
8		(3) デジタル技術・データの活用 活用すべきデータ、テクノロジーが明確に述べられ、妥当なものとなっているか。